

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
令和3年度 業務実績評価書 (案)

令和4年 月

神奈川県公立大学法人
神奈川県立保健福祉大学評価委員会

神奈川県公立大学法人神奈川県立保健福祉大学評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法第78条の2に基づき、次のとおり公立大学法人神奈川県立保健福祉大学（以下「保健福祉大学」という。）の令和3年度の業務実績に関する評価を実施した。

1 年度評価の基本方針

業務実績に関する評価は、「公立大学法人神奈川県立保健福祉大学の各事業年度の業務の実績に関する評価の実施基準」（平成30年9月20日決定）に基づき、次のとおり行う。

(1) 基本方針

- ア 中期目標の達成に向けて、法人の中期計画の事業の進捗状況を評定する。
- イ 県民への説明責任の観点から、評価を通じて、中期目標の達成状況や業務の実施状況を分かりやすく示す。
- ウ 法人の組織・業務運営等に関して改善すべき点を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資する。

(2) 評価区分

年度評価に当たっては、法人から提出された業務実績報告書等を基に、法人からのヒアリングを実施するなど調査・分析のうえ、業務の実績の全体について検証を行う。業務実績の検証は、年度計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、できる限り客観的なデータにより適正に行う。

ア 項目別評価（小項目評価）

評価委員会は、項目（小項目）ごとに、法人の自己評価及び年度計画の目標設定の妥当性などを総合的に検証し、法人の自己評価と同じ5段階の区分により評価する。評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示すとともに、必要に応じて、特筆すべき点や改善すべき点等があればコメントを付す。

イ 項目別評価（大項目評価）

評価委員会は、項目（大項目）ごとに、業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、以下の5段階の区分により評価する。

- S：中期計画の達成に向けて特筆すべき優れた進捗状況にある。
- A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。
- C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

ウ 全体評価

評価委員会は、全体評価について、業務実績の検証や項目別評価の結果を踏まえ、法人の中期計画の進捗状況全体について総合的に判断し、記述式で評価をする。また、必要があるときは、法人に対して業務運営の改善その他の勧告をすることができる。

2 全体評価

令和3年度は、**全体として中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。**

(項目別評価の結果)

- (1) 大項目1「教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」
小項目28項目中**4項目**で年度計画を**大幅に上回る実績・成果を上げている**ほか、**24項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施**されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。
- (2) 大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」
小項目3項目中**3項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施**されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。
- (3) 大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」
小項目3項目中**3項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施**されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。
- (4) 大項目4「その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置」
小項目4項目中**4項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施**されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。
- (5) 大項目5「自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」
小項目2項目中**2項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施**されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。

全体評価	項目別評価				
	大項目	評価	小項目(評価基準)	項目数	
中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	4
				A(ほぼ100%実施)	24
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	28
	2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	3
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	3
	3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	3
				B(80%程度以上)	0
				C(60~80%未満)	0
				D(60%未満)	0
				項目数 計	3
	4	その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0
				A(ほぼ100%実施)	4
B(80%程度以上)				0	
C(60~80%未満)				0	
D(60%未満)				0	
項目数 計				4	
5	自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置	A 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。	S(年度計画を大幅に上回る)	0	
			A(ほぼ100%実施)	2	
			B(80%程度以上)	0	
			C(60~80%未満)	0	
			D(60%未満)	0	
			項目数 計	2	

(業務実績の状況)

第一期中期計画の4年目である令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、教職員による様々な努力により教育活動の質を維持し、保健、医療及び福祉の分野に関する総合的な能力を有する人材を育成した。また、実践教育センターでは職員等が感染予防活動への技術的支援に携わるほか、イノベーション政策研究センターでは県と連携しパンデミックの公衆衛生対策に係るプロジェクトを実施し、県の感染症対策に大いに貢献した。コロナ禍において教育活動と研究活動を継続し、3キャンパスの強みを積極的に生かした法人運営を進めている。

3 大項目評価

(1) 大項目1「教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

就職希望者就職率(学部)は、令和2年度に引き続き100%を達成した。また、就職者の約70%が神奈川県内に就職しており、県立の大学としての使命を果たしている。国家試験合格率は、精神保健福祉士を除くすべての資格[※]で目標値100%を達成し、高く評価できる。

※ 看護師・保健師・助産師・管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士

※ 精神保健福祉士は89.5% (目標100%)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた教育活動について、学部における演習・実験・実技科目等の対面での授業において、複数教室で展開するなど感染拡大防止策を図った上で実施した。また、看護学科では病院実習が例年通り行えなかった令和2年度卒業生に対し、実践力を養成するための卒後フォローアップ研修を実施した。さらに4年生に対し卒前フォローアップ研修を実施しており、教育の質を最大限保証できるよう努力していると認められる。今後もオンライン授業と対面授業をうまく活用し、さらなる教育の質の向上を目指してほしい。

研究の質の向上について、イノベーション政策研究センターにおいて県が進める未病施策や保健医療データに関する取り組みに対し、知見を提供するなどした。

社会貢献については、オリンピック・パラリンピックへの対応により県職員の保健師が不足することから、県対策本部から依頼を受け、看護師・保健師資格を有する職員が応援業務に従事した。その他、神奈川コロナクラスター対策チームとして委嘱を受けるなど、県の感染症対策に貢献を果たした。

公開講座・市民大学開催回数は目標値の15回を大きく上回る33回となった。コロナ禍においてもオンラインを利用するなど開催方法を工夫して積極的に取り組み、特にヒューマンサービス公開講座ではオンデマンド配信で1,500回近い視聴数を記録した。知の拠点としての役割を果たしていると評価できる。

(評価結果と判断理由)

令和3年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、**A評価(中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある)**とする。

「教育に関する目標を達成するためとるべき措置」、「学生への支援に関する目標を達成するためとるべき措置」、「研究に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「社会貢献に関する目標を達成するためとるべき措置」の4つの面における取組をそれぞれ検証した。

小項目28項目中**4項目**で年度計画を**大幅に上回る実績・成果を上げている**ほか、**24項目**で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施されており**、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、**A評価**が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

- ・年度計画を大幅に上回る実績・成果を上げている主な事項（S評価）

<小項目1>

<小項目10>

<小項目18>

<小項目27>

- ・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目〇>

(評価にあたっての意見、指摘等)

- 今後、保健福祉分野の人材不足への対応としてAIや機械化が進むという意見もあるが、そのような未来におけるヒューマンサービスの価値というものをより発信することで、法人の教育の価値が県民の皆様にもよく伝わるであろう。

(2) 大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

クロスアポイントメント制度を活用し、他大学や医療機関の第一線で活躍する人材を教員に迎えている。

(評価結果と判断理由)

令和3年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「運営体制の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」、「人事の適正化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するためとるべき措置」の3つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

- ・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目〇>

(3) 大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

科学研究費助成事業の採択件数を増やすため、FDを実施するなど積極的に取り組んでいる。

(評価結果と判断理由)

令和3年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「自己収入の増加に関する目標を達成するためとるべき措置」、「経費の抑制に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「資産の運用管理に関する目標を達成するためとるべき措置」の3つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目3項目中3項目で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況**であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

- ・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目○>

(4) 大項目4「その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置」に関する評価

(業務実績の状況)

大学院のWebサイトを修正するほか、実践教育センターのパンフレットをリニューアルし、広報機能の強化を図った。

(評価結果と判断理由)

令和3年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するためとるべき措置」、「安全管理に関する目標を達成するためとるべき措置」、「情報公開等の推進に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「社会的責任に関する目標を達成するためとるべき措置」の4つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目4項目中4項目で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況**であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

- ・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目○>

(5) 大項目5「自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

(業務実績の状況)

定期的に自己評価専門部会、自己評価審査会を開催し、業務の進捗管理を行っている。

(評価結果と判断理由)

令和3年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、A評価とする。

「自己点検及び評価の充実に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「自己点検及び評価の状況に関する情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置」の2つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目2項目のうち2項目で年度計画に記載された事項が**ほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況**であることから、A評価が妥当であると判断した。

(小項目評価の主な内容)

- ・年度計画を達成している主な事項（A評価）

<小項目○>

4 評価委員会の概要

(1) 令和4年度神奈川県公立大学法人神奈川県立保健福祉大学評価委員会委員

委員長	梅原 出	(国立大学法人横浜国立大学学長)
副委員長	鹿島 勇	(神奈川歯科大学理事長)
委員	鈴木 智子	(公認会計士)
委員	竹村 克二	(公益社団法人神奈川県医師会副会長)
委員	長野 広敬	(公益社団法人神奈川県看護協会会長)
委員	山田 晃久	(株式会社山田債権回収管理総合事務所代表取締役)

(2) 評価委員会実施状況

- 第一回 令和4年7月13日(水)
 - ・令和3年度業務実績報告書について
 - ・第一期中期目標期間(見込)における業務実績報告書について
 - ・財務諸表等・利益処分案について
- 第二回 令和4年8月3日(水) ※web開催
 - ・令和3年度業務実績評価書(案)について
 - ・第一期中期目標期間(見込み)における業務実績評価書(案)について
 - ・財務諸表等・利益処分案に対する意見書について